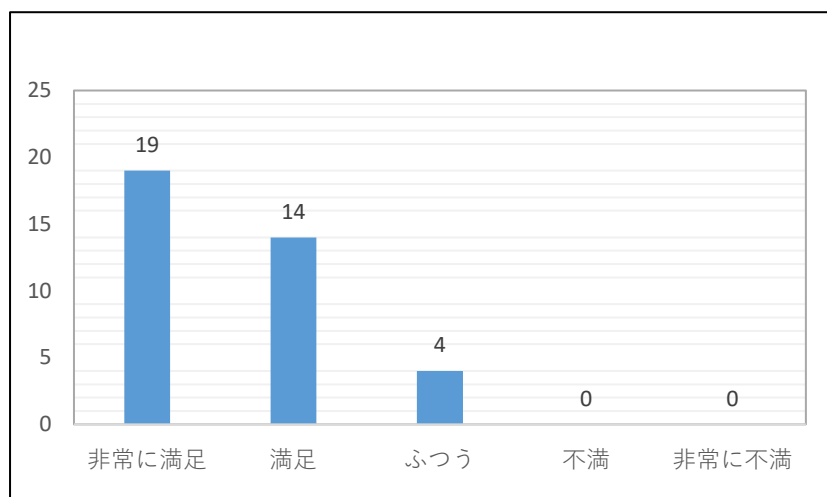


「2021 年秋季研修会」アンケート集計

日時：令和 3 年 10 月 17 日（日）

アンケート回答 37 名

本日の会全体に対して（五者択一）〔不満～非常に満足〕（人数）



本日の講演の感想

・	貴重な現場の声が、メディアなどを通してでなく、実際の状況として聞くことができて良かったです。
・	患者さんのケアをする業務だけではなくて、第一波、第二波となるたびに、患者数が増えるにあたって、感染症エリアを拡大するための引っ越し業者のような業務も看護師さんがやっているのは考えたこともなかった。ほかにも発熱外来を熱い中、寒い中外で走り回ってやったり、徹底的な掃除をしたり、身体的ストレスも多く、夜間の患者さんの容態の心配であったり、目まぐるしく変わる現状にミスなく対処しないといけないといった心理的ストレスも多い仕事で、これが続いていくのは大変だと思った。
・	今の時代の 1 番の話題であるコロナについての内容でとても興味深かった。特に実際にコロナ患者の治療にあたっていた医療従事者のお二人の話を聞いて、ここまで日本の医療を支えてくださったことへの感謝の気持ちと尊敬の気持ちを改めて認識することができた。
・	ニュースなどに伝え聞く医療現場の大変さを、実際の生の話が聞けたのがよかった。病院はいろんな人の仕事でなりたっていることも実感することができた。
・	長野県内でのコロナ対応について深くお話しいただき大変勉強になりました。
・	外部からは知れない、感染対策の実状などについて知ることができてよかったです。
・	コロナ禍での看護師の方の仕事内容などは以外と知る機会が少ないと思うので、大変貴重な経験だった。

・	実際にコロナ対応をしてくださる看護師の方からお話を伺うことができ、初期の対応から感染者数が増えた状況での対応、それぞれの大変さを知ることができました。特に第1波で、情報が無い中で感染を拡大させないために普段であれば看護の仕事ではない業務が増えたり、それによって本来の看護、患者に寄り添うという部分ができずに苦しかったりというお話が印象的でした。
・	メディア等で聞いた話よりよりリアルな話を聞くことができ現場の状況がわかった。
・	実際にコロナ禍で医療に携わる看護師さんのお話を聞くことができ非常に有意義だったと思いました。
・	ニュースなどで医療現場が逼迫しているなど聞いたことがあったが、実際の現場では想像以上に過酷な現状があり、より一層自分たちができる努力をしなければならないと思った。
・	コロナ対応の実際を聞いて有意義だった。
・	看護師さんの立場から、COVID-19 に対する医療現場のリアルな状況を聞くことはなかなか無かったので、非常に有意義な時間になりました。
・	実際に現場でコロナに対応する医療者の方のお話をお聞きする機会は、医学生でもあまりないことであったので、大変貴重だと思いました。
・	報道などで、コロナ禍の医療現場はすごく大変であることは聞いたことがありますが、実際に当事者の方からそのお話を聞くと、本当に大変であることが伝わってきました。改めて、今後感染対策を徹底していこうと思いました。
・	現場で働く方のもとてもリアルなお話で、自分が将来働く可能性の高い環境に重ねて聴くことができ、非常に学びが多かった。
・	本日の講演で印象に残っている点は、感染者数の状況に応じてコロナ専用の病室の数を変えていることや、消毒(病室から患者さんが使ったお札まで)やベッドメイキングに多くの時間を割いていることなど、実際に臨床に立っている方でないと分からないことを知ることができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。
・	新型コロナウイルス感染症が如何に医療現場を悩ませたのかがよくわかりました。同時に、看護師さんの苦労がしのばれました。医師になる身として、医療従事者の仕事を知ることは多職種連携に多いにつながると思います。
・	ニュース等で見聞きする以上に、現場では刻一刻と状況が変化していたことを感じた。それぞれの状況に対しての対応でさえ大変な様子であったが、さらにその状況が変化していくのは非常に厳しいことで、医療従事者の方々の苦労を実感した。今後も新興感染症や、コロナの第 n 波として状況が変わることもあると思うので、今の経験を大切に、状況を見て迅速に負担を少なく対応していける体制を作るべきだと思った。
・	他の病院の内情を知る機会が少なかったので、今回、それを知ることができた良い機会になった。
・	看護師の方の話を聞く機会は今まであまりなかったのでとても興味深かった。患者の看護だけでなくベッドの移動や施設の消毒まで看護師さんがやっていると聞いて、とても大変そうだった。
・	実際のコロナ対応の現場の対応の様子を知ることができて有意義だった

・	最前線でコロナウイルスと戦っている方の話をニュースよりも詳しく聞くことができ、とても勉強になりました。特に医学科にいと看護師さんの話はなかなか聞けないので、とても良い機会だったと思います。 コロナ禍になってからしばらく経って、根拠のないネガティブな印象や誹謗中傷等は初期の頃より少なくなったとはいえ、自分のためにも医療従事者の方々のためにもやはり罹らないことが1番だと思うので、これからも感染対策をきちんと行っていききたいと思います。
・	看護師さんからの目線でお話を聞けて、貴重な経験だと感じました。
・	コロナウイルス患者の現場対応に関する生身の声をお聞きすることができ、その対応について詳しく聞くことで、医療従事者として求められていることについて学ばせていただき、非常に勉強になった。
・	コロナの中で、長野県の身近な病院で実際に勤務していた看護師さんたちのお話を聞くことができ、非常に貴重な機会になった。イレギュラーな状況下で、看護師さんなどにものすごく大きな負担がかかってしまっていたことを感じて、あらかじめ何らかの対策で未然に防ぐことはできたのだろうかと考えた。あらかじめ、公立病院同士や私立の病院との人材や物資の連携がとれるといいと思った。
・	COVID-19の病棟で働かれている方の実際のお話を聞く非常に貴重な機会となりました。特に流行の初期は自分が想像してる以上に厳重に対応していて、その苦労や工夫も伝わってきました。
・	臨床の砦を読んでいたので、松本市立病院のコロナとの闘いを経験された方から聞けてよかったと思いました。
・	実際の医療体制を知れてよかった
・	コロナ渦にあって医療崩壊を起こしているといったことはメディアを通して頻繁に耳に入ってきていましたが、医療従事者の声をしっかりと聞いたのはこれが初めてで貴重な経験をさせていただきました。話の中で、当時の状況を地獄だったと表現していたことが特に印象に残りました。
・	看護の視点からのコロナの話は興味深かったです。
・	実際に先輩のお医者さんから話を聞けてよかったです。
・	感染症病床を持つ病院として、今回の状況では地域の第一線であった、その現場のお話を聞けてよかったと思います。医師以外の方のお話を聞く機会も多くはないので、貴重なお話でした。

グループ懇談の感想

・	上の学年の方々の話をたくさん聞くことができよかったです。
・	今までの現場の話を聞いたうえでこれからはどうなるかという話をしている人もいて、ほかの人の話も聞けて良かった。ほかの奨学生と話ができて良かった。
・	自分の意見を発信し、また他の人の意見を聞くことで今回の内容を深く理解できた。また、同じ高校で同じ学年の人がいて驚いた。
・	他大学の学生さんたちと話すと、その地域の感覚の違いを知ることができて面白かった。

・	信州大学の方が多かったですが、他大学の取り組みや学生生活について情報共有できたので参考になりました。
・	様々な視点からの感想を得ることができて有意義でした。
・	違う大学の話も聞けておもしろかった。
・	他の方がどんな考えを抱いていたのか共有することができました。特に医師の対応や今後、自分が医療従事者として働く一人として常日頃から意識することなど、自分にはない視点で講演を振り返ることができました。
・	他大の状況を聞くことができた
・	講演の感想を交換でき、自分の考えを深める場となり良かったです。
・	先輩方から大学についての話なども聞くことができて有意義だった。
・	グループで他の大学の人の状況を聞いたのが良かった。
・	色々な感想を聞けただけでなく、学年や学校の違う方々から大学生活の話を聞くことができて良かったです。
・	ドクターの方とお話することができ、義務年限を終えた後のことや、医局についてなど、直接お聞きすることができ、参考になりました。
・	それぞれの大学で、今、どのような生活となっているかについてや、先輩からはコロナ禍の実習はどんな感じかなどについてのお話を聞くことができ有意義な時間を過ごせました。
・	自分より医学にも医療にも詳しい上級生がどんなことを感じたかを聞けてためになった。視野が広がり、より理解が深くなった。
・	今回の講演を聞いての感想だけでなく、今後コロナ感染の波が起きたときにどのような問題が起こりうるか、そしてその改善策にはどのようなものがあるかを話し合うことが出来ました。また、お互いの大学での話もすることができ、よいコミュニケーションになったと思います。
・	パソコンのマイクのトラブルで話し合いに参加できなくなりましたが、他大学の様子を知れるのは良かったです。また、様々な着眼点から新型コロナウイルス感染症への思いを知ることができて良かったです。
・	他県で一人暮らしをする他大学の学生の生活の様子を知ることが出来たり、講演に対する考え方も現在置かれている状況に応じて一人一人違ったりしたことが新鮮で、新たな見解を知ることが出来てとても良かった。
・	学生から実習や公園の感想等を聞くことができ、メンタルヘルスなど、診療内容以外の面にも話を広げている様子が、とても勉強になった。
・	他の人の意見が聞けて良かった。ほかの大学や学年のひとたちの授業の様子を聞けて面白かった。
・	他大学、他学年の方と話せて様子を知れて交流できて有意義だった
・	普段関わる機会のない他大学・他学年の人と話す機会は貴重で、部活のことや授業の形式、実習についても情報交換ができたのでとても有意義な時間でした。
・	気になっていたことを先輩方に聞いたので良かったです。
・	同じ講演を聞いても、各個人で全く異なる意見を持っていて、とても勉強になった。

・	初めて会話をする方ばかりでしたが、さまざまな大学、学年の方と懇談することで自分の視野も広げることができました。
・	地域によって、コロナ感染への感覚が少し違ったり、学校のコロナ対策も違ったりしていることを知ることができました。地域によっては部活に入る人が少ないというお話なるほどと思いました。
・	協力的な方が多くリラックスしてお話できた
・	コロナの影響による学校生活の変化や、義務年限後の生活についても話し合いました。感染は収束に向かってはいますが、やはり学校は違えど授業やサークル活動などに未だに影響が出ているようでした。
・	実際に先輩のお医者さんから話を聞けてよかったです。
・	感染症病床を持つ病院として、今回の状況では地域の第一線であった、その現場のお話を聞けてよかったと思います。医師以外の方のお話を聞く機会も多くはないので、貴重なお話でした。

講演への質問

・	第三波では、重症患者やなくなる人が多く精神的にも大変そうで、第四波では患者数は過去最高だったものの重症患者はひとりだったというのがあるが、患者が入れ替わるたびに消毒したりするのを考えると身体的には第4波のほうが大変そうだが、実際のところどうなのですか。もし第4波のほうが大変だとするとこれから重症化しないからと言って感染対策が疎かになってはいけないなと思った。
・	グループ内で話していて思ったことを質問させていただきたいと思います。 コロナ診療に初期から尽力される中で、初期はマニュアルなどもない状態での対応を余儀なくされた部分もあったかと存じます。 感染症という専門性の高い分野において、どのような工夫をされて専門的な対応を行っていらっしやったのでしょうか？
・	コロナ感染後の後遺症があるのか、また後遺症をもつ患者さんの対応について伺いたいと思いました。

今後の交流会・研修会に関する希望（開催方法、内容など）

・	コロナウイルス関連の講演はものすごくためになるので勉強になりました
・	Zoomでの開催を継続してほしい。
・	状況が良くなって、感染の不安がなくなったら、このような会も対面で開催されると、さらにグループ懇談などが弾むと思った。
・	開催時期の希望のアンケートを取ってほしいです。
・	理学療法士など、ほかの分野の方の話を聞く機会があったら面白そうだったと思った。例年東京でやっているという話だったが、今後もオンラインでもいいと思う。
・	懇親会の時間が少し長いように感じた。

・	今回のようにオンライン開催をしていただけると長期休み以外も参加しやすく、社会情勢が変わったとしても年に何回かはオンラインで開催していただけるとありがたいです。
・	オンライン希望
・	コロナが収まったら東京で開催する会合復活してほしいです